

電動バイク PVT-01E 15Ah/17Ah
取扱説明書・保証書

PVT-01E-15
PVT-01E-17.5



Ver.1.0.1

2024年4月発行

(当製品の取扱説明書の最新版は弊社のHPでご確認ください)

目次

| | |
|----------------------------|----|
| はじめに | 3 |
| 警告表示について | 4 |
| 安全上のご注意 | 5 |
| 付属品 | 7 |
| 各部の名前 | 8 |
| 組立方法 | 9 |
| バッテリーの充電方法 | 17 |
| 液晶ディスプレイ取扱説明 | 18 |
| バイクの乗り方 | 20 |
| 走行モード | 22 |
| tag キーの設定 | 25 |
| 故障かな?と思ったら / 保管とお手入れ | 26 |
| 製品保証 | 30 |

はじめに

電動バイク【PvO】をお買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書をよく読み、内容を理解した上で正しくご使用ください。
取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

- 製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。
- この取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類を必ず製品に添付してください。

★ 最大特徴

| | |
|--------------|--|
| ①ハイブリッド走行モード | “人の踏力”と“アシスト力”の両方を使用し、自転車よりも軽い踏力で走行できます。 |
| ②電動バイクモード | スロットルを回すだけで、走行が可能です。 |
| ③自転車走行モード | モーターオフで、ペダルだけの走行が可能です。 ※歩道は走行できません。 |

★ 法律遵守と保安基準

| | |
|-------------------------------|---|
| 道路交通法と保安基準に適合する保安部品は標準装備されます。 | ・前照灯 ・番号灯/尾灯 ・警音器 ・後写鏡 ・制動灯 ・方向指示器(前後ウインカー) ・速度計 ・後部反射器 |
|-------------------------------|---|

★ 公道走行

| | |
|--|---|
| 道路交通法上は原動機付自転車となります。公道走行の際、以下の点をお守りください。 | <ul style="list-style-type: none">●ナンバー登録が必須です。●自賠責保険への加入が必須です。●ヘルメットの着用が必須です。●第一種原動機付自転車を運転することができる免許の携帯が必須です。●車道を走る必要があります。●時速30km以内で走行してください。 |
|--|---|

※本製品は、公道において、電源のオン/オフにかかわらず、法律上は「原動機付自転車」として扱われます。自転(ペダル)モードであっても、歩道の走行は禁止されておりますので、車道をご通行ください。

警告表示について

●安全にご使用いただくために




ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害と電動アシスト自転車の損害を未然に防止するために本書に記載されている内容をよく理解していただき、警告・注意・禁止事項を必ずお守りください。

※不注意や誤った操作などは事故につながる恐れがあります。本書・別紙、本体ラベルに記載されている内容をよく理解していただき、各記載事項をお守りください。

●安全に関する表示

運転される方、その周囲の方々へ、事故やけがを未然に防止するために、安全に関する下記の表示をしています。本書に記載されている警告・注意を必ずお守りください。

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

| | | |
|--|-----------|--|
|  | 危険 | 誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれが高いことを示しています。 |
|  | 警告 | 誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、財産の損害が発生する可能性があることを示しています。 |
|  | 注意 | 誤った使い方をした場合、障害を負うことや、財産の損害が発生する可能性が高いことを示しています。 |

注意

●異常を発見したら販売店にご相談ください。

異音・故障など、異常が発生した場合には、必ず販売店へご相談いただき、変形、ひび割れなど異常のある部品は必ず交換を依頼してください。そのまま使用を続けると事故・故障の原因となる可能性があります。

⚠ 安全上のご注意

・バッテリー/充電器について



・電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししない
→感電するおそれがあります。



・火への投入、加熱をしない
→発火や破裂によりケガをするおそれがあります。



・火のそばなど高温の場所で充電・使用・放置しない
→発火や破裂によりケガをするおそれがあります。



・水を入れたり、水中に投下したりしない
→感電のおそれがあります。



・充電アダプタ・コード・プラグが傷んだものは使用しない
→感電や発火のおそれがあります。



・幼児の手の届く所に置かない
→感電やケガのおそれがあります。



・分解や改造は絶対にしない
→感電や発火のおそれがあります。



・バッテリー・充電アダプタ・コードは、本製品のバッテリー充電のみに使用し、他社製品には使用しない
→発火や破裂によりケガをしたり、感電するおそれがあります。



・バッテリーを長期間、放置しない
→長期間、放置するとバッテリーの劣化の原因となります。
目安として3ヶ月に1回は充電してください。



・バッテリーの(+)と(-)電極部分を金属などで接触させない。また、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に運んだり、保管しない
→感電や発火・破裂のおそれがあります。



・電源はAC100~240V(50/60Hz)を使用すること
また、コンセントやコードは定格内で使用すること
→定格外のものを使用すると発火のおそれがあります。



・充電中のバッテリーやアダプタの放熱を妨げないよう、上に物を置かない
→火災のおそれがあります。



・一般ゴミと一緒に捨てない
→火災や破裂によりケガをするおそれがあります。
破棄する際は、自治体にご確認いただき、従ってください。



・バッテリー接続部に磁気を帯びたものを近づけない
→バッテリーの故障の原因となります。





・コードやプラグをショートさせない
→発火のおそれがあります。




・万一、バッテリーから液が漏れた場合は、以下の注意事項を守ること
→皮膚や服につけないように注意する。
→目に入った場合直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
→皮膚についた場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。


安全上のご注意


 ・充電中はバッテリーやアダプタに長時間触らない
→低温やけどのおそれがあります。


 ・バッテリーやアダプタは平らな所に置く
→バッテリーやアダプタが落下し、ケガをするおそれがあります。


・充電が完了したら、速やかにプラグをバッテリーから外す
→差し込んだまま放置すると火災のおそれがあります。


 ・バッテリーやアダプタを落下させたり、衝撃を与えたりしない
→故障の原因となります。


 ・傷ついたまま使用しない
→感電や火災のおそれがあります。


 ・プラグにゴミや土、油がつかないようにする
→感電や火災のおそれがあります。


 ・お手入れの際、ベンジンシンナー・アルコール・磨き粉などは使用しない
→発火、破裂のおそれがあります。

 ・コードの抜き差しはプラグを持って行う
→コードを持って抜き差しすると、コードが傷つき、感電や発火のおそれがあります。

 ・コードを持ってバッテリーやアダプタを持ち上げたり、引っ張ったりしない
→コードが傷つき、感電や発火のおそれがあります。

 ・長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく
→発火のおそれがあります。

 ・塵やほこりの多い場所で充電したり、保管しない
→火災のおそれがあります。

 ・バッテリーやアダプタが以下のときには、速やかに使用中止し、購入の販売店に連絡すること
→水没したとき
→異臭がしたとき
→ケースが破損したとき
→内部に水や異物が入った時
→落下させたとき
→異音が発生したとき
→強い衝撃を受けたとき
→発煙があったとき

⚠ 安全上のご注意

・電動自転車を安全に乗るために

- ⚠ 「蹴り乗り」はしない、必ずサドルにまたがってから発進すること。
→ペダルに力が加わると、アシスト力が働き、転倒や接触事故のおそれがあります。
- ⚠ 操作スイッチを「ON」にしたまま、駐車、停止、バイクの押し歩きをしないこと。
→足や荷物がペダルに触れるとアシスト力が働き、転倒やケガのおそれがあります。
- ⚠ 操作スイッチを操作する際は注意して操作するか、完全に停止させてから行うこと。
→転倒や事故のおそれがあります。
- ⚠ バイク車体やアシストユニットを分解、改造しないこと。
→感電やケガをするおそれがあります。
- ⚠ バッテリーに圧力を加えないこと。
→特にバッテリーに手をかけたり、衝撃を与えたりすると、バッテリーがはずれたり破損するなどして、転倒や事故のおそれがあります。
- ⚠ 走行中に異音が発生したり、異常が発生したらすぐに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。
→そのまま使用を続けると故障や事故の原因となるおそれがあります。
- ⚠ 必ず平らな場所で駐輪すること。
→平らな場所に駐輪しないと電動バイクが倒れてケガをするおそれがあります。

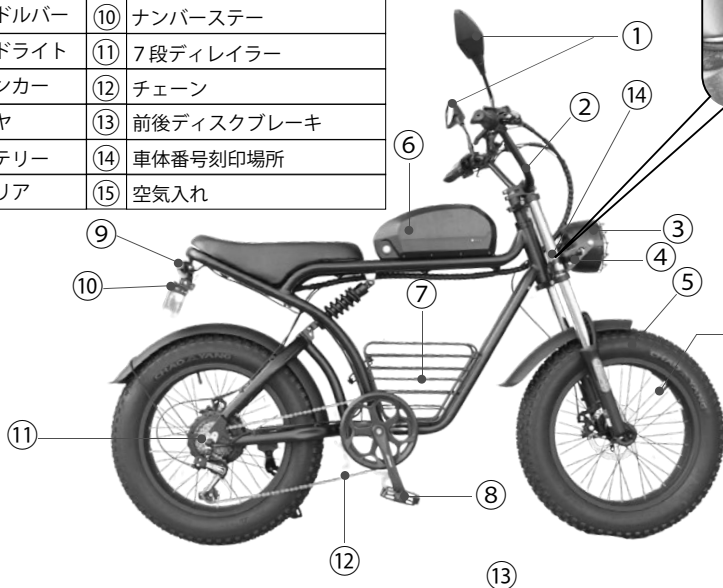
付属品



| | | | |
|---|----------------|---|--------------------|
| ① | 工具セット | ⑦ | カゴ |
| ② | ヘッドライト、ウインカー | ⑧ | ペダル、フロントフォークリフレクター |
| ③ | リチウムイオンバッテリー | ⑨ | シャフト（クイックリリース） |
| ④ | バッテリー充電器セット | ⑩ | 空気入れ |
| ⑤ | ナンバープレートステー | ⑪ | バッテリーキー |
| ⑥ | サイドミラー、ミラー受け金具 | ⑫ | tag キー マスターキー |

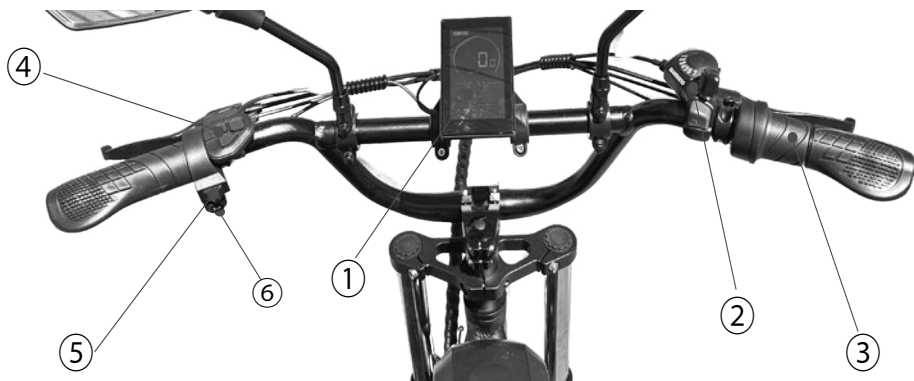
各部の名前

| 各部の名前 | ⑧ | ペダル |
|----------|---|---------------|
| ① サイドミラー | ⑨ | ストップランプ&ウインカー |
| ② ハンドルバー | ⑩ | ナンバーステー |
| ③ ヘッドライト | ⑪ | 7段ディレイラー |
| ④ ウインカー | ⑫ | チェーン |
| ⑤ タイヤ | ⑬ | 前後ディスクブレーキ |
| ⑥ バッテリー | ⑭ | 車体番号刻印場所 |
| ⑦ キャリア | ⑮ | 空気入れ |



※ 標識番号 (ナンバー) 取得には車体番号が必要になるため、お手続きされる前に販売証明書に車体番号を記入してください。

※ 空気入れは米式です。空気を入れる際は、付属の空気入れか、米式空気入れをご利用ください。(適正空気圧 140kPa・指で押した際、若干へこむ程度です。入れすぎはパンクの原因となります。)



| | |
|---|----------------|
| ① | 液晶コントロールディスプレイ |
| ② | 7段ディレイラー切替レバー |
| ③ | アクセル |
| ④ | 液晶ディスプレイ操作ユニット |
| ⑤ | ウインカースイッチ |
| ⑥ | ホーンスイッチ |

組立方法



組立方法は動画でもわかりやすく解説しています。左記のQRコードを読み込んでいただき、動画もご覧ください。

フロントタイヤの取付け

STEP1



シャフトの端に付いているナットとスプリングを取り外します。

※最初に付いていた順番を記録して置いてください。

STEP2



シャフトをホイールハブに通します。

STEP3



先ほど外したナットとスプリングをシャフトの端に取付けます。

組立方法

フロントタイヤの取付け

STEP4



STEP3で組付けたホイールをフロントホークの軸受け部分に下から上の方向に差し込みます。

※フロントホーク軸受け部分に入りにくい場合は、STEP3で行ったナットを緩めて下さい。

STEP5



フロントホークとホイールの組付けができたなら、シャフトに付いているクイックリリースレバーを倒し固定します。

※フロントホークとホイールがしっかりと固定できない場合は、STEP3で行ったナットを締めこんで調整してください。

ハンドルの取付け

STEP1



【ハンドルステムを緩める】

ステムの後ろの2個を先に緩め、その後に前の2個を緩める。

組立方法

ハンドルの取付け

STEP2



ハンドルバーに滑り止めのプレスラインが刻みこまれているので、ステムの端で合わせてハンドルバーを取付けます。

STEP3



【ハンドルステムを締める】

ステムへ4本のネジを仮止めして、順番に均等に締めていきます。

※ハンドルバーを取付ける際は、ステムネジを完全に締め切らない状態で位置を調整してください。

STEP4



液晶ディスプレイの固定ネジ2本を少し緩めて赤の矢印の方向に回します。見やすい位置に調整後、固定ネジ2本を締めて固定します。

組立方法

ペダルの取付け

STEP1



ペダル本体左右共に裏側に刻印されている刻印の確認してください。
車両の進行方向に対して、「L」が左ペダル
「R」が右ペダルです。

STEP2



右ペダル「R」は、反時計回りに締めていきます。
左ペダル「L」は、時計回りに締めていきます。
それぞれ、付属のレンチを使用して増し締めを行って下さい。

ウインカーの取付け

STEP1



ウインカー本体に付いているナットを取り外します。

※ウインカーは左右2本あります。
それぞれ2本共作業を行って下さい。

組立方法

ウインカーの取付け



STEP2

ウインカーの配線をヘッドライトユニットの取付けステーにある穴に通す。

※ウインカーは左右2本あります。
それぞれ2本共作業を行って下さい。



STEP3

STEP1で外したナットをヘッドライトユニットの裏側からウインカーのボルトに固定する。

※ウインカーは左右2本あります。
それぞれ2本共作業を行って下さい。

ヘッドライトユニットの取付け



STEP1

ヘッドライトユニット固定金具のネジを緩めてボルトと金具を取り外します。

※左右共に同じ作業を行ってください。

組立方法

ヘッドライトユニットの取付け

STEP2



ヘッドライトユニットを車体に仮合わせします。
取付け位置は、アンダーステムの上側です。

STEP3



STEP1で外した金具をヘッドライトユニット
に開いてある差し込み口合わせて位置が
ズレないように抑えておきます。

STEP4



STEP1で外したボルト、ナットを
ヘッドライトユニットのボルト穴に通し裏側から
ナットで締め付けします。

組立方法

ヘッドライトユニットの取付け

STEP5



ヘッドライト、ウインカーの配線を行います。
青色コネクターがヘッドライトです。
青色コネクターオス側と青色コネクターメス側
同士接続します。

黄色コネクターは、ウインカーです。
黄色コネクターオス側と黄色コネクターメス側
同士接続します。
左右のウインカーが逆に点灯する時は、コネク
ターを反対に接続してください。

※コネクターは、防水加工処理の都合上少し固いので、
接続の際少し力が必要です。

STEP6



ヘッドライトの向きを正面に向けて、①のボルト
を締めて固定します。
次に、ウインカーの向きを正面に向けて、②のボ
ルトを締めて固定します。

フロントフェンダーの取付け

STEP1



フロントホーク上部にあるボルト、ナットを
緩めて取り外します。

組立方法

フロントフェンダーの取付け

STEP2



フロントフェンダーとフロントホークのネジ穴の位置を合わせます。

STEP1で外したボルト、ナットをフロントフェンダーのボルト穴に通し裏側からナットで締め付けします。

バッテリーの取付けとステッカー保護カバーの剥離



車体に付いているバッテリーステーにバッテリーを押し当ててスライドしてバッテリーを取付ける。



バッテリータンクについているデカール保護カバーをゆっくりとはがしてください。

完成



組立後に付属の空気入れで空気を入れて、点検を忘れずに安全に走行してください。



バッテリーの充電方法



バッテリータンクにキーを差し、回した状態のままで、バッテリーを後ろにスライドさせ、車体からバッテリーを外します。
(バッテリーの落下にはご注意ください。)

バッテリーキーを回さない状態



バッテリーキーを回した状態



バッテリーの電源ボタン下部にある充電端子のシリコンカバーを外し、バッテリー充電器セットの DC アウト端子をバッテリーの充電端子に挿し込みます。
電源ケーブル側は AC100V コンセントに挿し込んでください。
充電アダプタのランプが赤く点灯を始めたら充電が開始されています。

※100V 以外での電源では使用しないでください。防水タイプのコンセントでは正しく接続できない場合がありますのでご注意ください。

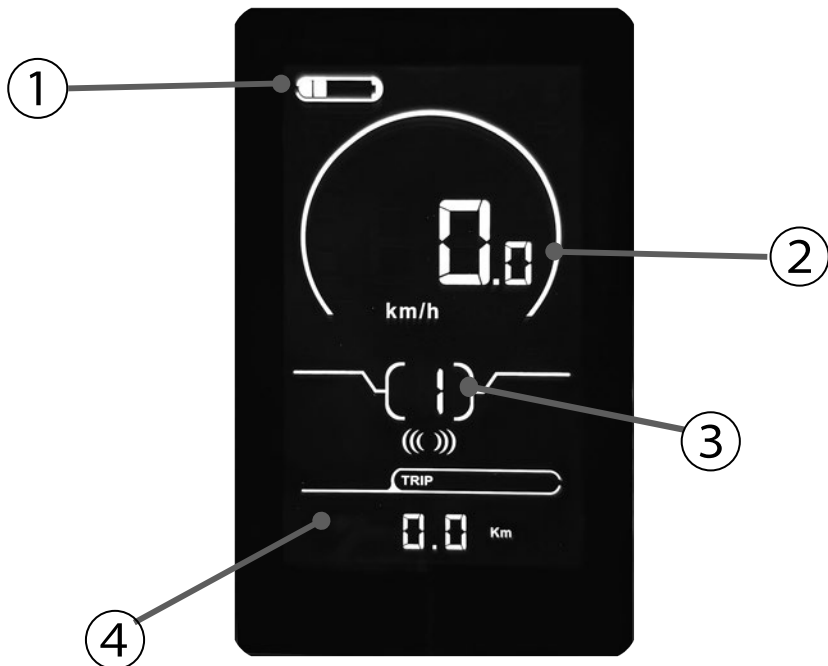


電源ボタンが緑色の点灯に変わったら充電完了です。
バッテリーから充電器セットを取外し、P16の「バッテリーの取付け」を参照して、車体にバッテリーを取付けてください。

液晶ディスプレイ取扱説明

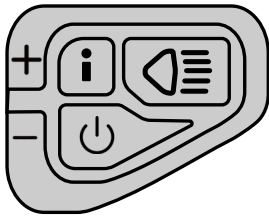
⚠ ※電動バイクを安全に操作するために、ご使用前に必ずこの取扱説明をお読みください。




ディスプレイ表示



- | | |
|---|---|
| ① | バッテリー残量表示されます。 |
| ② | 電動バイクの現在のスピードを表示します。 |
| ③ | “+”または“-”でパワーモードを切り替えることができます。 ランクは 0 ~5まであります。 起動した際は、ランク1が自動的に選定されています。 |
| ④ | 総走行距離、単回走行距離、単回走行時間を表示します。 ※切らずに「OFF」消灯する場合、TRIP(単回走行距離)はODO(総距離)に反映されません。 |

液晶ディスプレイ操作ユニットの取扱説明



モニターの操作ユニットには、
+、-、、、 のボタンがあります。

+

パワーモード(0~5)を上げるボタンです。

-

パワーモード(0~5)を下げるボタンです。



電源をオンとオフにするボタンです。



ヘッドライトの明るさを調節するボタンです。



ODO (オドメーター): 「総走行距離」を表示します。ただし、この電動バイクのオドメーターは仕様により、電源をオンにしてからオフにするまでの1操作期間内で走行した距離を測定し、電源をオフにすると自動的にリセットされますので、**走行距離の累計は行われません**。

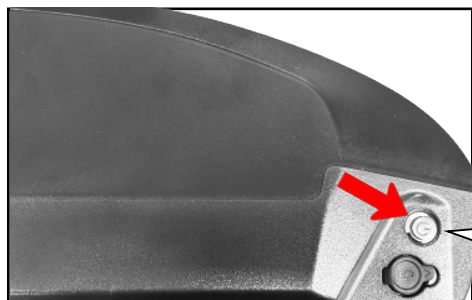
TRIP (トリップメーター): 「区間走行距離」を表示します。特定の旅行や区間で走行した距離を測定します。リセット可能で、短期間の旅行距離を追跡するのに便利です。

MAXS (最高速度): 「最高速度」を表示します。バイクが到達した最高速度をキロメートル毎時またはマイル毎時で示します。この値はリセット可能で、特定の旅行での最高速度を確認するのに使われます。

AGV (平均速度): 「平均速度」を表示します。バイクの平均速度をキロメートル毎時またはマイル毎時で計算し、表示します。この値もリセット可能で、特定の区間での平均速度を知るのに役立ちます。

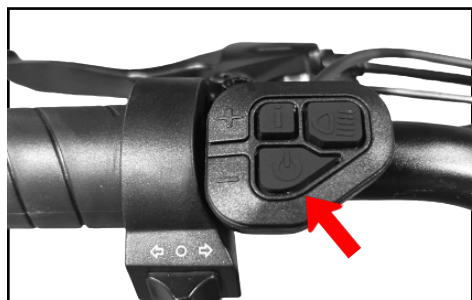
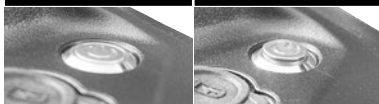
バイクの乗り方①

電源の入れ方



車体に取り付けた状態で、バッテリーの電源ボタンを押す。
バッテリー電源がオンになるとボタンが緑色に点灯します。

バッテリーオン状態 バッテリーオフ状態



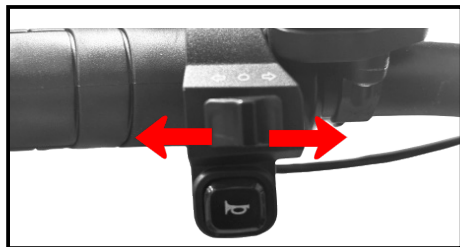
液晶ディスプレイ操作ユニットの電源ボタンを1回押す。



液晶コントロールディスプレイに tag キーを軽くかざすと電源が入ります。

バイクの乗り方②

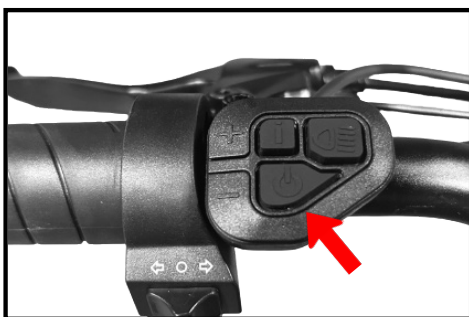
ウインカー操作方法



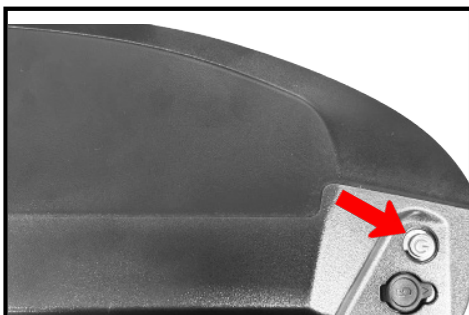
「右ウインカー」
ウインカースイッチを右にスライドします。

「左ウインカー」
ウインカースイッチを左にスライドします。

電源の切り方



液晶ディスプレイ操作ユニットの電源ボタンを1回押したあと、バッテリーの電源ボタンを押します。
液晶コントロールディスプレイが暗くなっていることが確認できたら電源オフ完了です。

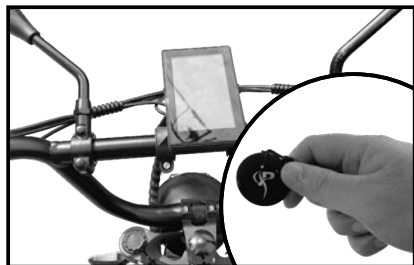


※バッテリー電源ボタンは緑色に点灯したままとなっていますが、時間が経つと消灯します。

※tag キーを液晶コントロールディスプレイにタッチすることでも電源オフにできます。走行中にtag キーを液晶コントロールディスプレイに近づけないようにご注意ください。

ハイブリッド・電動・自転車モードの走行①

ハイブリッドモード走行



tag キーを操作します。



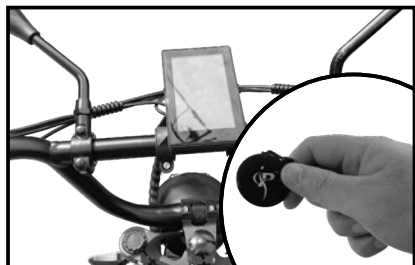
電源を入れ、パワーモードを操作してください。



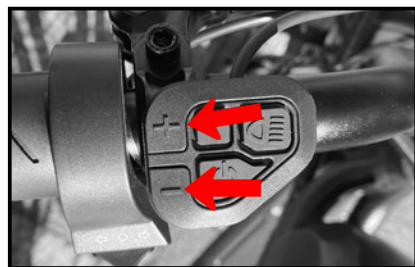
ペダルをしばらく漕ぐと、ハイブリッド走行がスタートします。

ハイブリッド・電動・自転車モードの走行②

電動バイクモード走行



tag キーを操作します。



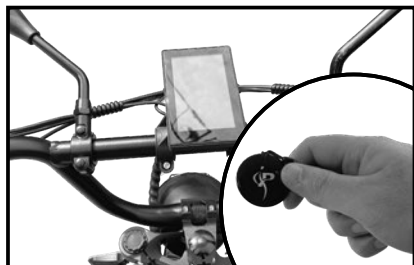
電源を入れ、パワーモードを操作してください。



スロットルを回すと、電動バイクモードで走り出します。

ハイブリッド・電動・自転車モードの走行③

自転車モード走行



tag キーを操作します。



電源を入れ、パワーモードを0にします。



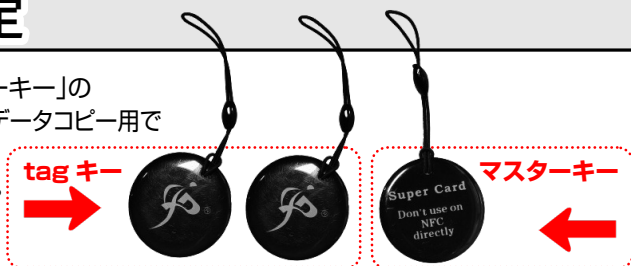
普通の自転車のようにペダルを漕いで走行します。

※自転車モード走行中も、道路交通法上は原付扱いのため、道路交通法上に従って走行してください。

※電源をオフにした状態でペダルを漕いで走行することも出来ます。

tag キーの設定

キーは「tag キー」と「マスターキー」の2種類があり、マスターキーはデータコピー用でしか使いませんので、バイクのキーとしては使用できません。



バッテリーの電源ボタンを押し、液晶ディスプレイ操作ユニットの電源ボタンを押したあと、液晶コントロールディスプレイにマスターキーをかざします。ピッという電子音が1回鳴ります。



次に、tag キーを液晶コントロールディスプレイにかざします。ピッという電子音が2回鳴ると、tag キーの登録完了です。もう1つの tag キーも同様にして登録します。



登録した tag キーをキーとして使用します。

故障かな?と思ったら

| | |
|---|---|
| 補助(アシスト)しない | 停止して10分以上たっていませんか?(オートオフシステム) →電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。 |
| 電源は入るが、モーターが動かない(操作スイッチは表示されて、バッテリーの残量も十分であることが表示されている) | ブレーキを掛けていませんか?ブレーキレバーはしっかりと戻り切っていますか? →ブレーキレバーはしっかりと戻っていることを確認してください。 |
| バッテリーが満充電状態ではないのに充電ができない | バッテリーと充電器が正しくセットされていますか? →バッテリーと充電器を正しくセットした上で充電してください。 |
| | バッテリーを長期間使用せずに放置していませんか? →バッテリーから充電接続コネクタを、充電アダプターから電源コードを一旦抜いて、もう一度各コネクタ/コードを接続しなおしてください。 |
| 走行距離が短い | 充電されていますか? →バッテリーを充電してください。 |
| | バッテリーを長期間使用せずに放置していませんか? →充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかつた場合には自然に放電してしまうため、残量がなくなっていることがあります。 |
| | 坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしませんでしたか? →道路条件や変速位置等により走行距離が短くなります。 |
| | 気温は低くないですか? →冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えているため、バッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります。 |
| | 気温は高くないですか? →高温で放置した場合は、バッテリーの残量が減少することがあります。 |
| | バッテリーが劣化していませんか? →バッテリーを交換してください。消耗品のため、定期的な交換が必要です。 |

保管とお手入れ

保管場所

電動アシスト自転車は次のような場所に保管してください。また、保管の際はカバーをかけてください。

- 水平で水はけの良い場所
- 風通しが良く、湿気の少ない場所
- 直射日光に当たらない場所

長期保管するときは

長期間(およそ1ヶ月以上)電動自転車を使用しないときは、次の内容にしたがって保管してください。

- バッテリーを満充電してから保管する
- 保管に適した温度(0~25℃を推奨)
- 3ヶ月に1回充電する

長期保管後に使用するときは

長期保管後は、次のことを行ってください。

- 必ず使用前に充電する
- 長期保管が6ヶ月以上になった場合には点検整備を行う。

組立直後・日常の点検チェック①



バイクは、ご使用に伴い各部が痛んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用いただくために、乗車前に必ず点検・整備をお願いします。



前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり抜けたりしないか。



スロットルを回した時にスムーズに戻るか。※必ず電源を切った状態で行うこと。



ブレーキは正常か。握った際に、グリップとレバーの隙間が $1/2 \sim 1/3$ になるまでにロックするか。



前輪後輪のネジに緩みはないか。



ペダルに上下左右方向から力を加えた際、ガタつきはないか。



サイドスタンドのネジがしっかり固定されているか。

組立直後・日常の点検チェック②



バイクは、ご使用に伴い各部が痛んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用いただくために、乗車前に必ず点検整備をお願いします。



丸印の箇所の裏側に、スタンドの長さを調整できるネジがございます。しっかり固定されているか確認してください。



適正空気圧：1.4kgf/cm²(20psi)

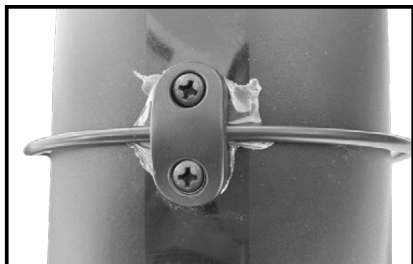
タイヤの空気圧は適正か。指で押した際、若干へこむ程度が適正です。また深い傷はないか、溝の深さは1mm以上あるか。



バイクを押し歩いた際クランクの作動は正常か。※前進した際、クランクは回らない。後退した際、クランクは回る。



テールランプやナンバープレートを止めているネジに緩みはないか。



リアフェンダーを止めているネジに緩みはないか。



ウィンカー部分を止めている金具のネジに緩みはないか。

点検・整備項目



以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。
異常を感じた場合、整備店にて点検を受けてください。

| 点検項目 | 点検期間 | | | | | | |
|------------------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 5回目 | 6回目 | 7回目 |
| | 2ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 1年半 | 2年 | 2年半 | 3年 |
| アシスト機能は正常に作動するか。 異音がしないか。 | | | | | | | |
| モーターからグリス漏れはないか。 | | | | | | | |
| 電気配線の接続部にゆるみ、傷はないか。 | | | | | | | |
| コードの断線がないか。フレームへの取付は適切か。 | | | | | | | |
| バッテリーの取付状態は確実か。 | | | | | | | |
| 表示ランプは点灯するか。 | | | | | | | |
| バッテリーの消耗が早くなっていないか。 | | | | | | | |

製品保証①

本保証書に従い、お買い上げの電動バイクを保証いたします。

【保証規定】

1. お客様が本製品をお受け取りになった時点で、お客様は本規定に同意していただいたものとし、お客様と弊社の間で本規定の効力が有効に生ずるものとします。
2. 本規定は、日本国内での使用のみに適用されます。日本の道路運送車両法に基づき製造、販売しております。日本国外への持ち運び、使用は一切できません。
3. 各部品の不良等は保証期間に基づき対応いたします。

【保証期間】

保証期間は、ご購入の日から一年となります。
走行距離が3,000kmを超えた際は期間に関係なく保証対象外となります。
※部品によって保証期間が異なります。
※タイヤ、チューブ、バルブ、ブレーキ等の消耗品は保証対象外となります。
※取り付け工具等のサービス品は保証対象外となります。
※分解、改造は保証対象外となります。

| | |
|--|--|
| 1.保証の内容 | 以下に規定する保証は、当社が製造・販売する製品 (以下 対象製品という)に適用します。 ※なお、タイヤなどの消耗品は対象外とさせていただきます。 |
| 2. 保証期間対 | 対象製品の保証期間は、ご購入日後1年間とします。 |
| 保証期間 1年間の部品 | ●モーター、バッテリー、コントローラー、充電器 人為的破損以外の原因による破損、破損した部品を郵送いたします。 ●スロットルアシスト、テールランプ、ヘッドライト、ディスプレイ 人為的破損以外の原因による破損、破損した部品を郵送いたします。 |
| 初期不良限定 部品 (受け取って7日 間以内で故障 発生の場合) | ウインカー、バックミラー、電源スイッチ、シフトレバー、 固定用レバー等の小部品 |

製品保証②

本保証書に従い、お買い上げの電動バイクを保証いたします。

保証範囲外の部品 タイヤ、ペダル、スタンド、サドル、泥除け、キャリア、ペンキ

3. 適用用途

当社製品は、短距離移動用の移動手段として設計・製造されております。従いまして、中長距離の使用は意図しておりませんので適用外とさせていただきます。ただし、事前に当社までご相談いただき、お客様の責任において製品の仕様をご確認のうえ、性能に対してご了承いただき、必要な安全対策を講じていただく場合は適用可能とさせていただきます。

【保証範囲】

本製品が、保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、保証規定により修理または交換を対応いたします。
ただし、商品発送の際にかかる費用に関してはご負担をお願いいたします。

以下の場合には保証対象外となります：

1. 製品保証書がない場合、もしくは中古車販売、個人販売により所有した場合
2. 取り扱い上での輸送中の落下、取り扱いが不適当なために生じた故障や損害の場合
3. 他製品を接続したことによる故障、動作保証を行っていない機器やケーブルを接続したことによる故障の場合
4. 不適当な使用環境、保管状況による故障した場合
5. 砂地、砂利道等の舗装されていない道路を長期間走行したことによる発生した製品故障
6. 経年による劣化（塗装面の剥がれ、メッキ部のサビ、その他）
7. 走行上問題のない、使用環境、使用状況、保管方法により左右される現象（音、振動、バッテリー充電容量の低下）
8. 製品の分解、修理、改造等により発生した故障や損傷など
9. 地震、噴火、津波などの天災や、戦争などによる損害

製品保証書

商品名
型番

| | | | |
|-------------------|-------|----------------------|---|
| お買い上げ日 (商品到着日) | | 領収書・納品書 (コピー) 添付欄 | |
| ※お客様 | お名前 | | 様 |
| | ご住所 | | 〒 |
| | お電話番号 | | |

この製品保証書は下記の保証規約の内容で、無料修理または交換をお約束するものです。購入日と購入店が証明できるもの(販売店が発行する領収書・納品書・レシート等)を紛失された場合保証対象外となりますので、必ず大切に保管をお願いします。

保証規約

【1】保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間の過ぎた商品や、購入日と販売店が証明できるもの(販売店が発行する領収書・レシートや納品書等)がないものは有償修理となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。

【2】保証適用除外事項について

次のような場合および事項については、保証期間内であっても保証の適用外とします。なお保証適用外の事由によって生じた製品の修理・交換に関しては、理由の如何にかかわらず有償修理対応となります。

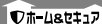
- A. 商品購入日と購入店を証明できるもの(販売店が発行する領収書・納品書・レシート等)を紛失された場合。
- B. 保証書を紛失・改竄された場合。保証受付の際に提示なき場合。本保証書に必要事項が明記されていない場合。
- C. 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合。
- D. 改造等の保証外動作を行った場合。
- E. 製品運搬中の衝撃・振動等による故障・損傷の場合。
- F. 落下や衝撃、強度の振動によって製品に故障または損傷が生じた場合。
- G. 不良製品があった際、その不良部分につき発売元に申し出なく、自己で修正を試み他の製品に損害を与えた場合。
- H. 製品不具合発生の原因が、火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等の外部的要因による場合。
- I. 極端な高温または低温の過酷な環境下での使用において故障または損傷が生じた場合。
- J. 日本国外で使用された場合。

【3】免責事項

- A. 輸送中における故障・損傷については、発売元は一切その責を負いません。
- B. 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、製品の使用、または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含む)に関しては、発売元では一切の責を負わないものとします。
- C. 製品および発売元サービスに関して、発売元の責に帰すべき事由によりお客様に損害が生じた場合には、発売元は製品のご購入代金を上限として、その損害賠償責任を負うものとします。但し、その損害賠償の範囲は、現実が発生した直接かつ通常の損害に限るものとします。

【瑕疵担保責任に関する特約】

商品に添付される保証書等の条件に従い、保証サービスが提供されます。保証書が添付されていない商品および保証書の条件が適用されない商品については、上記「保証期間」・「保証適用除外事項」のみの対応となるものとし、法律上の瑕疵担保責任の規定は適用されないものとします。



ホーム&セキュアお問い合わせ

株式会社ダイタク 技術サポート
〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷4-8-6
サポートメール: support@daಿತoku-p.co.jp

ナビダイヤル 受付時間 / 平日 10:00 ~ 16:00

0570-004-154

お問い合わせフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S7593291/>

